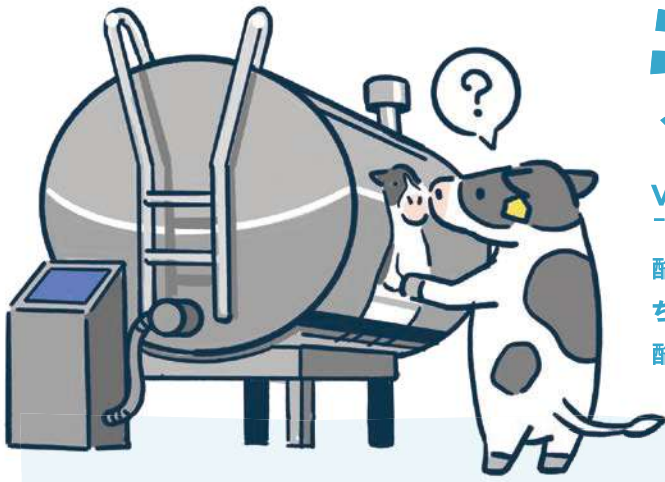


シン・酪農百科

Vol.11 酪農で活躍するモノ編

酪農家インタビューで登場する、さまざまな機械や設備。
ちょっと聞き慣れないですね。

酪農で「活躍するモノ」たちには、どんな役割があるのかご紹介します！

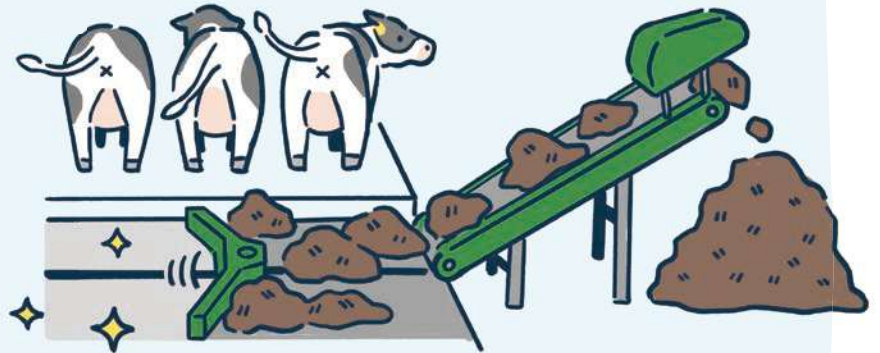


バルククーラー

搾乳後1時間以内に10℃までミルクを冷やし、一定の温度を保つことができるタンク型の冷却器。飼っている頭数によって大きさはさまざまだが、数千リットルのミルクが入るものもある。



搾りたてのミルクは
32~35℃で、
温かいよ!

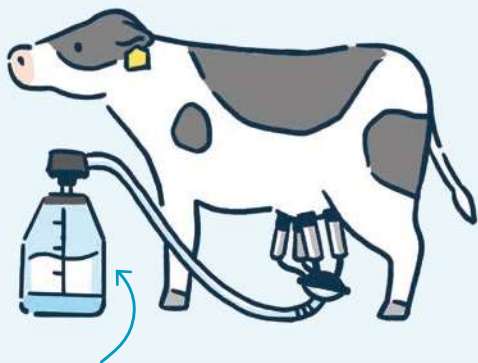


バークリナー

牛のふん尿を片付ける装置。ふん尿と汚れた敷料を集めて、ベルトコンベヤーのように牛舎の外に運び出す。集められたふん尿は堆肥やバイオガスとして活用。

ミルクパーラー

牛が自由に移動できるフリーストール式牛舎で利用される搾乳施設。一度に何頭も搾ることができる。頭数や作業者の人数、搾乳時間、土地の広さや環境を考え、経営的な視点から選択。



● ミルカー

真空の力を利用し、牛の乳を搾るための機器。

ロータリーパーラー

回転式テーブルに牛を乗せて搾乳。
人は移動しなくて良い。

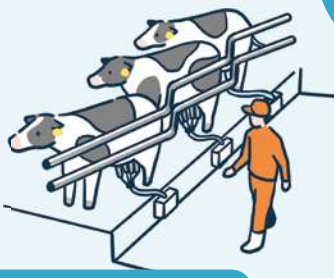


パラレルパーラー

搾乳者に対して、牛を縦に並ばせる。
牛の後ろから搾乳する。



いろいろな
スタイルが
あるよ!



ヘリンボーンパーラー

牛を斜めに並ばせる。
タンデムパーラーより牛を多く並べられる。



タンデムパーラー

搾乳者に対して横を向くように、
牛を一直線に並ばせる。